

令和4年度事業計画書

I 肢体不自由児の福祉の増進を図る事業を実施する。

1 肢体不自由児への理解と療育思想を広く県民に普及する事業

(1) 「友情・愛の絵はがき」「クリアファイル」「コラボセット」等事業（継続）

支出予算： 974,000円（令和3年度支出予算： 758,000円）

収入予算： 2,266,000円（令和3年度収入予算： 1,529,000円）

（福）日本肢体不自由児協会（以下「日肢協」と表記）及び各道府県肢体不自由児協会の主唱で、毎年11月中旬から1か月間全国一円に展開される「手足の不自由な子どもを育てる運動」の一環として、肢体不自由児・者に対する理解及び療育思想の一層の普及促進を目的に寄付を募る。

当協会においては、8月～12月末まで実施することとしており、独自にトッキッキ柄及びレルヒさん柄のクリアファイル（共にA4サイズ）を作成し、肢体不自由児・者への理解及び療育思想の普及啓発を図るとともに、事業財源の確保に努める。

また、令和2年度から継続して行っている取り組みとして、（公財）千葉県肢体不自由児協会及び群馬県肢体不自由児協会が作成したクリアファイル（千葉県：チーバくん、群馬県：ぐんまちゃん）を、相互の県で取り扱い、寄付金の増加を図る。（送料や消耗品等に掛かる経費は、同封する「愛のタオル事業」の方に計上している。）

返礼予定数

【友情・愛の絵はがき】

@100（日肢協作成）

750組返礼予定

（3年度実績 810組、2年度実績598組）

【トッキッキA4クリアファイル】

@150（千葉県・群馬県には@60で提供）

9,700枚返礼予定

（12,000枚作成の内、コラボセットに封入分の2,300枚を除いた数）

【レルヒさんA4クリアファイル】

@150（新潟県内のみ）

2,200枚返礼予定

【コラボセット】

@500（新潟県内で返礼）

2,300セット返礼予定

【コラボセット内容】

令和4年度「チーバくんA4クリアファイル」 ×1枚

令和4年度「ぐんまちゃんA4クリアファイル」 ×1枚

令和4年度「トッキッキA4クリアファイル」 ×1枚

令和3年度作成「レルヒさんメモ帳」 ×1個

合計4点を1セットに袋詰めして、本来600円のところ、500円で返礼

(令和3年度実績：2,290セット売上 (クリアファイル3枚、レルヒさんメモ帳1個で500円セット))

(枚)

	令和2年度実績	令和3年度 実績見込み	令和4年度予定			
				トッキッキ (コラボ分)	トッキッキ (バラ)	レルヒさん
新潟	3,795	4,563	7,000	2,300	2,500	2,200
群馬	3,950	5,980	4,600	4,600	(1,600)	
千葉	1,806	600	1,000	1,000		
				12,000		2,200

- ・ 令和4年度の群馬・千葉の予定数量については、各県に確認した数量を計上。
(ただし、群馬のトッキッキ (バラ) の (1,600) については、令和3年度において追加依頼があったことを踏まえ、予備として計上)

(2) 「愛のタオル」 事業 (継続)

支出予算：10,840,400円 (令和3年度支出予算：10,849,000円)

収入予算：17,350,000円 (令和3年度収入予算：16,120,000円)

肢体不自由児に対する理解及び愛護療育思想の一層の普及啓発を図ることを目的に寄付を募り、寄付協力者に対して「愛のタオル」を頒布し、肢体不自由児への理解と療育思想の促進を図るとともに、事業財源の確保に努める。令和3年度同様、ナセンタオルは1口250円、フェイスタオルは1口500円で返礼する。

令和3年度同様、梱包作業のほか、タオルや絵はがきの寄付の依頼文書や、コラボセットの封入作業も福祉作業所に委託することとする。

また、令和3年度に構築した申し込みフォーマット (当協会ホームページよりタオルやクリアファイル等がパソコンやスマートフォンから申し込めるシステム) が好評であったため、FAXやメールでの申し込みをホームページからの申し込みに移行して頂くよう、案内文に明記し、更なる周知をすることにより、寄付協力者の利便性向上と、協会事務の負担軽減を図る。(今まで通りFAXやメール、電話での申し込みも受け付ける。)

なお、例年、障害関係施設及び団体・新潟県保育士会・老人クラブ連合会・社会福祉協議会等に対しては、取りまとめの御礼として1口 20 円の割引を行ってきたが、取りまとめの実態が合っていないため、実際に取りまとめを行っている新潟県保育士会のみ割引を残すこととし、その他は通常の寄付金額とする。

返礼予定数	トッキッキフェイスタオル @500	14,200本
	トッキッキナセンタオル @250	26,000本
	<u>オリジナルナセンタオル @250</u>	<u>15,000本</u>
	合計	55,200本

令和3年度実績 (見込み)	トッキッキフェイスタオル	15,744本
	チューリップ柄ナセンタオル	17,415本
	<u>ひつじ柄ナセンタオル</u>	<u>22,666本</u>
	合計	55,825本

ホームページの寄付金申し込みフォーマット：年間保守管理費：80,000円

【令和4年度返礼品一覧（予定）】

①トッキッキフェイスタオル	1枚	500円
②トッキッキ柄ナセンタオル	1枚	250円
③オリジナル柄ナセンタオル	1枚	250円
④絵はがき	1組	100円
⑤トッキッキA4クリアファイル	1枚	150円
⑥レルヒさんA4クリアファイル	1枚	150円
⑦コラボセット	1セット	500円

(トッキッキ・チーバくん・ぐんまちゃんクリアファイル各1枚、レルヒさんメモ帳1個)

※返礼単価は令和3年度と同じ

**(3) 肢体不自由児・者の書、絵画、写真などの作品展開催事業
（「ふれ愛作品展」の開催事業（継続））**

予 算 445,500円（令和3年度予算 738,000円）

全国の「肢体不自由児・者の美術展」、「肢体不自由児・者のデジタル写真展」の入賞作品や県内の肢体不自由児を中心とした障害児・者の書、絵画、写真等の作品を展示し、応募対象者の生きがいの増進と一般の人々の肢体不自由児・者に対する理解の促進と、療育思想の普及を図る。

令和3年度と同様に、新潟市東区役所と新潟ふるさと村アピール館を会場とし、肢体不自由児者への理解の普及啓発を図る。

なお、令和5年度以降は、新潟市内の2会場ではなく、長岡など県央地域も会場候補として、開催を検討していく。

【新潟市東区役所（新潟市福祉課と共催予定）】

期 日：9月上旬～9月中旬（予定）

展示場所：新潟市東区役所 南口エントランスホール（予定）

展示作品：第40回「肢体不自由児・者の美術展」入選作品及び県内在住の入賞者の作品

肢体不自由児・者のデジタル写真展入選作品

県内在住の肢体不自由児・者の作品

【新潟ふるさと村 アピール館会場（新潟市）】

期 日：9月中旬～9月下旬（予定）

展示場所：新潟ふるさと村 アピール館（1Fホール）（予定）

展示作品：東区役所会場と同じ

(4) 援護活動等が顕著な者を表彰する事業（肢体不自由児援護表彰事業（継続））

予 算 223,000円（令和3年度予算 181,000円）

肢体不自由児に対する援護、療育思想の普及啓発を図り、援護活動を推進するため、障害にもめげず勉学や療育に励み、他の児童、生徒の模範となる肢体不自由児、肢体不自由児の友を助け、励ましながら共に学んだ児童・生徒・学級、肢体不自由児の療育・指導に顕著な功績のあった者及び肢体不自由児の保護者として他の模範となる努力や研鑽の著しい者を表彰する。

なお、新型コロナウイルス感染症の流行状況を考慮し、令和元年度～令和3年度は表彰式の開催は見送った。令和4年度においては新型コロナウイルスの流行状況を考慮しながら、開催が可能であれば実施する方向で検討する。

被表彰者 各区分2～3名程度（合計10名程度）

- 区分① 身体の障害にもめげず、勉学や療育に励んだ肢体不自由児で、他の児童・生徒の模範になる者
- 区分② 肢体不自由児の友を3年以上にわたり助け、励ましながら共に学んだ児童・生徒（小・中・高校生）・学級（前過程からの継続年数を含む）
- 区分③ 長年にわたり、肢体不自由児の療育、指導に顕著な功績のあった者
- 区分④ 肢体不自由児の親として、他の模範となる努力や研鑽をした者

表彰式 2～3月頃（予定）

場 所 県庁（第二応接室）

2 肢体不自由児に対して奨学金を給付する事業（肢体不自由高等学校奨学生採用事業（継続））

予 算 745,000円（令和3年度予算 745,000円）

一般の高等学校に在学している肢体不自由児の修学活動を支援するため、奨学金を給付し（返済不要）、勉学の意欲を助長するとともに、肢体不自由児の健全な育成をはかる。令和4年度継続見込みは5名。

（過去5年の奨学生採用実績の平均人数は11名）

採用予定人員	12人（令和3年度実績 8人）
奨 学 金	1人 60,000円（令和3年度と同額）
振込手数料等	25,000円

3 肢体不自由児の生活向上のための講習会等の開催事業

(1) 肢体不自由児夏期訓練事業（継続）

予 算 251,000円（令和3年度予算 291,000円）

夏季期間を利用して肢体不自由児及びその保護者に集団生活の機会を設けることで子ども同士の心のふれあいや親同士の親睦を深め、正しい療育知識の取得の訓練を行う。

新潟県肢体不自由児者父母の会連合会に事業を委託し実施しているが、各地区によって事業内容や参加人数、委託金額の割合にばらつきがあるため、令和5年度以降、事業趣旨に合うよう、事業内容等について、見直しを行う予定。

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、8地区ある父母の会の内、事業を開催したのは5地区だったため、実績見合いの予算を計上した。

委託費	250,000円
通信運搬費等	1,000円
開催地区	（父母の会で調整中）

(2) ボランティア講習会開催事業（休止）

予 算 0円（令和3年度予算 0円）

肢体不自由児等への理解の促進や、自立と社会参加の促進を進めるため、肢体不自由児を支援するボランティアの輪を広げることが目的として、大学、短大及び高等学校の学生に周知して講習会を実施していたが、参加人数の減少に伴い平成29年度から休止中。

各大学のボランティアサークルのメンバーが減っていることや、ボランティア関連は当協会の事業としては、「肢体不自由児」を対象とした活動を行うサークルに限定されてしまい、助成対象が限られるため、応募が年々減少している。

また、各市町村社会福祉協議会内にボランティアセンターが設置されており、ボランティアを行いたい人と、ボランティアを必要としている人との調整が行われているほか、ボランティア活動に関する相談支援や各種研修会の開催、ボランティアコーディネーターの養成など各種サポートが行われていること、「県民たすけあい基金」でボランティア活動の育成、助成が行われていることなどを踏まえ、令和5年度以降は、ボランティア関連事業について、事業のあり方を見直す方向で検討したい。

(3) 「ふれあいの集い」開催事業（継続）

予 算 304,000円（令和3年度予算 302,000円）

肢体不自由児と地域の小・中学生の交流を通じて障害の有無にかかわらず、相互に人格と個性を尊重し、支え合う共生社会の理念の普及を図るとともに、肢体不自由児への理解と心のバリアフリーの育成を図ることを目的に、スポーツ教室やレクリエーション等を行う。

例年、夏に県外のチームを呼び、車椅子バスケットボールの大会を開催していたが、新型コロナウイルス感染症の流行のため、令和3年度は車椅子バスケットボールの大会は中止した。令和4年度はチェアスキーバイスキー教室を少人数で日程を2回に分けて開催する予定。

なお、令和5年度以降、地域の小中学校の生徒向けに、車椅子バスケットボールの出前授業等を継続的に行うため、これまでの観戦中心の車椅子バスケットボール大会の開催支援では無く、肢体不自由児や地域の小・中学生が実際に体験出来る普及啓発事業の方にシフトしていく方向で検討中。

開 催	年 2 回（スキー教室 2 回）
参加予定者	各 15 人程度（ボランティア、介助者含む）
開催場所	上越地方を予定

(4) 肢体不自由児休日等支援事業（継続）

予 算 54,000円（令和3年度予算 74,000円）

肢体不自由児が休日や長期休暇期間において、自主性・社会性等を培う場を提供し、有意義な休日を送れるよう、新潟県立東新潟特別支援学校の生徒を対象に、大学生などのボランティアが企画・運営するレクリエーションを開催する事業として、従前は年6回分を計上していたが、新型コロナウイルス感染症流行のため、令和元年度2月から活動を休止している。

また、本事業については、モデル事業として平成17年度から活動を行ってきたが、大学生のボランティアサークル自体が十分に事業を実施出来るようになってきていることから、令和5年度以降は協会としては、事業のあり方を見直す方向で検討したい。

開催回数	年 3 回（令和3年度実績 0 回）
会 場	県立東新潟特別支援学校、新潟市東区プラザ、新潟ふれ愛プラザなど

4 肢体不自由児に生活の意欲と活力を与える活動、団体への助成事業

(1) 肢体不自由児を激励するイベントに助成する事業（肢体不自由児激励事業（継続））

予 算 408,000円（令和3年度予算 393,000円）

肢体不自由児の生活に意欲と活力を与えることを目的に、保護者団体が行う各種イベント等の事業に対し助成を行い、その活性化を図る。

新型コロナウイルス感染症の流行のため、例年より活動を実施出来る団体が減少している。

また、各種助成事業にも共通しているが、実施事業の規模及び参加人数に対して、助成金額にばらつきがあるため、令和5年度以降、事業趣旨に合うよう事業内容等について見直しを行う予定。

交付予定	10 団体	（令和3年度実績8団体）
1 団体当たり	37,000 円以内	（令和3年度と同額）
振込手数料等	38,000 円	

(2) 学生ボランティアサークルに助成する事業（学生ボランティアサークル助成事業（継続））

予 算 110,000円（令和3年度予算 160,000円）

主に肢体不自由児を対象に支援活動を行っている学生ボランティアサークルに対し活動費の助成を行い、肢体不自由児の援護の活性化を図るとともに、学生ボランティアサークルの強化を図る事業を行っている。

新型コロナウイルス感染症流行状況を考慮し、活動出来るサークルに助成金を交付する予定であるが、近年ボランティアサークルのメンバーが減少していることや、ボランティアサークルが新型コロナウイルスの流行により各種事業を行えないことから、応募が近年ほぼ1サークルしか無い状態である。（過去10年くらいでは5サークル程応募があり、各サークル5万円を助成していた。）

ボランティア講習会開催事業や休日等支援事業と同様、ボランティア関連事業について、事業のあり方を令和5年度以降検討したい。

交付予定	2 サークル	（令和3年度実績0件）
1 サークル当たり	50,000 円以内	（令和3年度と同額）
振込手数料等	10,000 円	

(3) 障害者スポーツ参加促進事業

予算合計 1,058,000円（令和3年度予算 1,046,000円）

ア スポーツ大会観戦等に助成する事業

予 算 34,000円（令和3年度予算 10,000円）

肢体不自由児とその介助者等を対象に、アルビレックス新潟のサッカー観戦チケットを無償で配布し観戦していただくことで、スポーツへの関心を育み、スポーツに対する意欲を高め、障害者の積極的な社会参加を図る。

※チケットは新潟県障害者スポーツ協会を通じて、J A新潟県信連から提供を受けている。

イ スポーツ用品等購入に助成する事業

予 算 1,024,000円（令和3年度予算 1,036,000円）

障害者が利用可能なスポーツ施設（社会福祉施設を含む）や障害者の支援団体、NPO法人などに対して、肢体不自由児・者が参加できるスポーツ用具の購入費用に助成を行い、障害者スポーツの普及・啓発を図るとともに、障害者スポーツへの参加を促進する。なお、本事業は上記の支援団体、NPO法人など民間団体を対象としており、別途予算措置されている特別支援学校の体育の事業で使うものは対象外とすることとしているが、実績報告段階において学校あての領収書を提出してくるケースも多いため、令和4年度においては助成対象を明確にし、適切に事業を実施する。

交付予定	10団体	（令和3年度実績11団体）
1団体あたり	100,000円以内	（令和3年度と同額）
振込手数料等	24,000円	

(4) 肢体不自由児関係団体支援事業（継続）

予 算 467,000円（令和3年度予算 487,000円）

心身障害者の福祉の増進のため活動を行っている、日本筋ジストロフィー協会新潟県支部に対して活動費等の助成を行い、団体の活動強化、育成強化を図ることにより、肢体不自由児者への支援を促進する。

例年、1サークル5万円（3サークル）に助成しているが、事業内容や人数等の助成内容が他事業と不均衡になっており、令和5年度以降、事業内容の見直しを検討していきたい。

また、車椅子を必要とする施設や学校に希望を取り、1台5万円を上限として当協会より購入助成金を交付することとする。

助成額	(社)日本筋ジストロフィー協会新潟県支部	150,000円
	車椅子購入助成先（車椅子5万円×6施設）	300,000円
	振込手数料等	17,000円

(5) 社会参加交流体験研修事業（継続）

予 算 62,000円（令和3年度予算 52,000円）

新潟県肢体不自由児者父母の会連合会が、肢体不自由児者の社会参加促進、社会交流の向上を目的に行う研修会に対して助成し、社会参加、社会交流の一層の向上を図る。

開催回数	年1回
会 場	選定中（令和3年度は書面にて開催）
助成額	50,000円（令和3年度助成額 0円）
振込手数料等	12,000円

(6) 協会事業案内小冊子作成事業

予 算 10,000円（令和3年度予算 210,000円）

令和3年度に作成した小冊子について、追加の配布希望があった場合に郵送する。
(令和3年度3万枚作成、9,000枚弱在庫あり)

小冊子発送代（通信運搬費）	10,000円
---------------	---------

Ⅱ 役員会等

- 1 監事会 5月に開催。決算の監査を行うほか、理事会に出席して、評議員会に提出すべき議案及び書類について監査する。
- 2 理事会 5月に決算、3月に予算を審議する通常理事会のほか、必要に応じ随時開催する。
- 3 評議員会 5月に決算審議の定時評議員会、3月に予算審議の臨時評議員会を開催するほか、役員を選任など必要に応じ随時開催する。

※新型コロナウイルス感染症の流行状況を考慮して、書面開催とする場合もある。

Ⅲ その他法人会計に関わる事業

(1) ホームページの管理（継続）

予 算 111,000円（令和3年度予算 126,000円）

当協会のホームページを随時更新し、事業内容の周知に努めるとともに各種事業の参加促進及び愛護療育思想の普及に努める。

ホームページ年間保守管理費：80,000円

URL：<https://www.shinshikyo.org/>

メールアドレス：sinsikyou@r3.dion.ne.jp

(2) 関東ブロック肢体不自由児協会連絡協議会

予 算 60,000円（令和3年度予算 73,000円）

令和4年度は新潟県で関東ブロック肢体不自由児協会連絡協議会（千葉県・群馬県・神奈川県・茨城県・新潟県）を開催する予定。各県の取り組みや財政状況、運営上の課題等を情報共有し、協会の安定的な運営等について協議する。

(3) 新潟県による公益財団法人立ち入り検査

3年に1回、公益財団法人の運営状況を、検査項目に添って適正に運営されているか監査が入る。

現在、2年連続で内部留保が増加傾向にあり、長期的な視点で事業費に還元していく必要があるが、その辺りが指摘項目になると予測される。